

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス りとる・まむ		
○保護者評価実施期間	2025年8月18日		2025年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年8月18日		2025年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・主として、身辺自立が確立できるようにルーティンとして積み重ねているので、そのうち、自然と自己の活動として、理解できてきている事・動作も多々ある。	・来所時からのタイムスケジュールを明確化にし、一連の作業として、繰り返していることで、スムーズに頭に入っていく。	・個人活動や集団活動でもお互いを理解しながら、行動できるように繋げていく。
2	・子どもたちは、毎回、音楽リトミックに参加することにより、リズム感・歌詞を覚える。そして、身体を動かし、それを表現することにより、協調性・個性・感性を育むことが、できている。	・繰り返して取組む曲、子どもたちの希望によって取組む曲など、変化を加えて、自己発信力や積極性を養っています。	・子どもたちからの提案も求め、意欲を持って、活動時間を有効に過ごせるようになる。それらが、達成感にも繋げられるように動機づけしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の保護者様同士の交流会等が図られていない。	・昨年・今回のアンケートの結果でも保護者の中には、他の利用児の保護者様との交流を好まない方も数人いらっしゃるのことで、事業所としては、なかなか、実行には踏み切れなかった課題でもあります。	・いきなり、事業所全体の交流会ではなく、顔見知りの方等の少人数からのお話し会などを試みて、ご家庭での悩みの解決の糸口等を探ったり、共鳴できる事案で、安心感などを持ってもらえるような取組も試みていくのも第一歩かと思われる。
2	・職員のスキルアップの為に研修会参加等の時間が、取れていない。	・職員の数が定まっていない時期等があり、療育に支障のない時間帯に参加するのが、困難であるため。	・今後は常勤職員を主体として、まずは、OJTから、充実して学べる機会を作り、ひいては、非常勤職員との連絡を密に事業所全体で、スキルアップに取組んでいく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス りとむ・まむ

公表日 2025年10月29日

利用児童数

15名

回収数

11名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	3		当放課後等デイサービスについての運営状況についての情報公開もどのような形で、行っているか、保護者様に報告するようにする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	0	8		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	0	6		今後は、家族支援プログラムについての研修会や情報提供できる機会を開催できるように事業所内でも職員のスキルアップを試みます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	1	0	0	活動記録や口頭で教えて頂き、いつも教えて頂いています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	4	0	0		ご家庭との関係を構築して、速やかに助言のできる体制作り工夫します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2	1	0	8		現在、保護者会等を行っていないのは、参加を好まない保護者の方々の意見も聞いていたので、躊躇していたが、今後は開催の仕方を模索して、どのような形が適しているのかを試していきたい。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	3	渡しホームページやSNSを見ておりませんので。	連絡帳等にもHPをアップしたこと等も知らせて、事業所の様子や行事のことも周知していただけるように発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	2		訓練を行ったときには、事後報告をし、保護者様に確認していただけるように公開する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	2		上記同様、訓練を行ったときには、HPや連絡帳でお知らせするようにする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	1	0	0	子どもは、「りとむ・まむ」に行くといつも、嬉しそうに言って通所しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	0	0	同上 送迎時も一目散に乗り込んでいます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0	子どもが、毎回、楽しみにしていることで、通所させ、療育して頂いていることに満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス りとむ・まむ		公表日 2025年10月29日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	現在の利用児は、小学生以下の児童だけなので、現在の広さで足りている。また、療育を行うフロアに障害物がないように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	療育室のジョイントマットをフローリングワイパーなどで、常に清潔に保つようしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	必要な場合は、適時、個室として空間を区切るような工夫を凝らしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3		職員の個人単位では、速やかに対応しているが、今後は、全体的で共有できる時間を作る。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		業務改善に繋がるよう今後、職員間で周知していけるようにする。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々の療育終了後、問題のあった事案などは、報告しあい、共有するようになっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		現在は、まだ、第三者による外部評価を行ってもらっていないが、今後は、事業所内の構築を深め評価をしてもらえるようにしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	4		上記同上、職員のスキル向上のための研修会や勉強会の機会を作っていく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	インターネット上で、公開されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2		常勤・非常勤に関わらず、周知できる方法を考える。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	3		その子その子の特性を把握し、作成しているが、非常勤職員も含め、全体で認識し支援を行っていく体制を試行している最中です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3		各職員に対して、立案を提示し、意見を聞きながら、適切な活動プログラムを決定するようにする。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	イベントや企画などを行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3		大まかな流れや担当などの打ち合わせはできているが、チームの連携としては、うまく機能していないので、各職員のスキルアップを図っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2		支援内容についての振り返りは、各職員とは行っているが、全体に共有できる体制作りを考え実行する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	3		記録を詳細にとるように心がける。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2	3		多様な遊びや体験活動を通して、複数組み合わせている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2		自分で選択できる機会を簡単な事項から、始めるようにし、発達段階によって、増やしていくようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		地域の保育・教育機関との連携が、現状では希薄な部分も否めないで、こちらからの積極的な関係構築も試みていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2		学校との情報共有は、文書により確認をします。また、送迎時に職員が学校での様子を確認し、事業所戻り次第報告し、対処している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		現在は、該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		現在は、連携を図れる状態にはないので、まずは、連携が取れるような糸口を見つけて、機会を作っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		公園などで、他児童と同じ空間で過ごすことはあるが交流はない。多方面から、可能性を探っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		参加する時間を作れるようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		随時、日々の過ごし方や課題があれば、連絡帳や急ぎのことは電話や送迎時等にやり取りを行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		必ず、契約時に時間を費やし説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		アセスメントやモニタリングにより、最新の様子を知らせていただき、把握している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1		6カ月に一度、その期の支援計画をお伝えし、保護者様の意見を聞き、その事項を策定している。また、次期は、いつ頃に来ていただくか目安をお伝えするようにしている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2		相談があれば速やかに対処し、必要があれば、来所して頂き、対面で解決法を話し合いを行っている。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者同士の交流の機会を設けていない。現在、参加を好まない保護者もいらっしゃるため、どのような開催が適切なのか、検討する必要がある。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	職員が、送迎時に何ったことも速やかに報告する体制を取っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、行事予定を配布、SNSも活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	職員には、常に周知している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	口頭での指示のみ行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		避難訓練は、毎月行っているが、状況付与や応急手当等、職員向けの訓練は行っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	3		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			